

2013年9月24日
テバ製薬株式会社

この資料は、2013年9月16日にテバ本社（イスラエル）が発表したものの邦訳です。
訳に齟齬が生じる場合、原文が優先されます。

がんDNA修復機構に作用する医薬品の共同研究開発で契約締結

2013年9月16日、イスラエル・ロンドン-英国のがん研究所技術開発部門であるがん研究・リサーチ・テクノロジー<以下、CRT>とテバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッド<以下、テバ社> (NYSE: TEVA) は、がん細胞におけるDNA損傷と修復機構(DNA damage and repair response ;DDR)のプロセスを制御するファーストインクラスの抗がん剤研究開発に関し複数のプロジェクト提携契約を締結しました。

DDRは、細胞内部で抗がん剤の細胞毒性を緩和し、がん細胞を化学療法のダメージから保護する重要な役割を担っています。がん細胞は、がん治療によるDNA損傷を修復する能力が最も高いがん細胞が生き残るよう、自然に強い修復機能を備えた突然変異体を選択的に複製し、がんの再発と治療への抵抗性につなげています。

英国がん研究所と英国における主要大学が持つ5つのがん研究所(オックスフォードのグレイ研究所、英国ケンブリッジがん研究所、ロンドン研究所、マンチェスターのペーターソン研究所、グラスゴウのビートソン研究所)間の広範なネットワークを共有するこの拠点は、CRTとテバ社のがん治療におけるDDR関連の創薬ターゲットに基づく新たな治療法の開発の根幹部となります。

「がん患者にとって大事なことは、私たちが近年のがん研究の進行速度を維持することです。英国がん研究所、CRTおよび彼らの卓越した学術パートナーは、がんやその治療の理解を向上させる原動力です。この共同研究では、細胞がどのようにDNA損傷を修復するかを私たちに示すでしょう。そして私たちが治療的介入可能なポイントを見つけるための一助となり、がん患者のための臨床成果を改善する方法に私たちを導きます」とテバグローバルR&Dプレジデント兼サイエンティフィック・オフィサーであるマイケル・ヘイデン博士は述べています。

この提携は、テバ社にDDRプロセスをターゲットとした選択的かつ排他的な新規治療法を開発する機会を提供します。がん細胞に治療耐性が出現するメカニズムと分子標的に焦点をあて、現在テバ社が所有するがん化学療法薬のポートフォリオにおける臨床的有用性と治療効果を拡大する可能性を広げます。このアプローチは、テバ社のオーダーメイド医療、特にがん領域のポートフォリオにおけるR&Dパイプラインの成長に焦点を当てています。

これまでの協力関係を踏まえ、英国がん研究所が所有するDDRに関連する生物学的研究のポートフォリオの中から CRT が選んだ新規分子標的についての条款を複数年契約で決めました。これらのターゲットは、CRT の創薬研究室で、創薬の初期研究に進む前に、その治療上の有用性が検証されます。CRT とテバ社は今後、共同でこれら新規リード化合物の創出を目指します。この契約下、CRT はテバ社から研究資金とマイルストーン報酬、そしてテバ社の医薬品パイプラインに繋がるプロジェクトでロイヤリティを受け取ります。

CRT の創薬研究所の創薬ディレクターであるハミッシュライダー博士は次のように述べています。「英国がん研究所の科学者は DDR の分野で素晴らしい研究を行っています。いくつかの抗がん剤は、がん細胞中でDNA修復機構を標的とし、がん細胞内での DNA 修復を妨げる新経路を探ることで既存の治療の効果を高めることができます。この度のテバ社との提携は非常に喜ばしいことであり、英国がん研究所と CRT が持つ新たな創薬ターゲットに関する最先端の研究成果と、テバ社が持つ医薬品の研究開発力を融合させるものです」

英国がん研究所の最高経営責任者であるハーパル・クマール氏は次のように述べています。「私たちの研究所は、ヒトの細胞中のDNA損傷の原因とその後の修復機構の研究で世界をリードしています。私たちは、この機構が新しい治療のために多くの機会をもたらすことを信じています。英国がん研究所では、過去 40 年に渡り重複がん患者の生存期間に関する研究の中心でした。業界における国際的なパートナーとともに仕事に取り組むことで新しい抗がん剤候補物質を創出し、研究を加速させることができるよう願っています。この革新的な提携がうまくいけば、私たちの研究成果をがん患者のために活用し、より迅速により多くの命を救うことができるでしょう」

注記

このアライアンスは、以下の創薬プロセスをまたがります。

新しい創薬ターゲットの検証（治療標的タンパク質の効果の証明）から、リード化合物の最適化医薬品候補物質に繋がる化合物の合成

Cancer Research Technology (CRT)について

CRT は、専門家の育成を目的とした会社法人で、がん患者のベネフィットのためにがん研究分野に新たな発おける見を目指しています。CRT は、国際的ながん研究者とその研究から生じる知的財産を保護し、彼らを商業パートナーと結びつけるために、複数の機関と密接に連携しています。CRT は、新しいがん治療薬、ワクチン、診断薬および実用化技術の創出、開発およびマーケティングをサポートします。CRT は英国がん研究所の完全子会社で、研究を通じて命を救うのに特化した世界有数のがん慈善団体でもあります。CRT についての詳細な情報は、www.cancertechnology.com でご覧いただけます。

英国がん研究所について

英国がん研究所は、研究を通じて命を救うことに特化した世界優秀のがん慈善団体です。予防、診断、がんの治療におけるチャリティの先駆的な存在で、今までに何百人もの命を救うことができました。英国がん研究所は、その研究のために政府からの資金援助を受けておらず、全ての資金を寄付で賄っています。英国がん研究所は過去 40 年に渡り重複がんの生存に関する研究の中心です。4,000 人以上の科学者、医師、看護師の仕事を通じて、がんの全ての側面の研究をサポートしています。私たちのビジョンは、パートナーやサポーターとともに、全てのがんが治療できる日を一日でも早くもたらすことです。英国がん研究所の仕事や慈善事業をサポートに関する詳細は、03001231022 にお電話いただくか、www.cancerresearchuk.org をご覧ください。Twitter や Facebook でコンタクトいただくことも可能です。